



市内にドッグラン施設の建設に関する請願書

請願者 (住所)

(氏名)

(電話番号)

紹介議員

マクキム 洋子 本間 真由美 吉田 稔之 前嶋 竜乃介

請願の趣旨

- 1 つくばみらい市内においてドッグラン施設を建設してほしい

請願の理由

現代社会において、ペットを飼い、「家族」として暮らしている方々が非常に多くなってきています。その中でも主に「犬」を家族の一員として暮らしている方が多くいらっしゃいます。

現在、つくばみらい市内における登録犬数は2,661頭（令和6年3月31日現在）となっております。

また、狂犬病ワクチン接種犬数は1,963頭（令和6年3月31日現在）との事です。

つくばみらい市の世帯22,857世帯（令和7年1月1日現在）をこの数値で割ると約8.5世帯に1頭の犬が飼われてるとい事になります。

現代の住宅事情では、犬を十分運動させる広さの庭などを持つ住宅はほとんどないため、犬を飼われている多くの方々は、犬のストレス、運動不足解消などのため、ドッグラン施設を利用しています。しかし、つくばみらい市には「小型犬」のみ利用できる施設は1か所あるものの、その他中型犬以上のドッグラン施設が無く、市民は近隣の常総市、守谷市、つくば市、利根町、野田市まで赴き犬を遊ばせているのが現状です。

ドッグラン建設による効果としては、公園などでは、人と犬のエリアを別にすることが出来、その結果、小さな子どもたちの安全性の向上が考えられます。また、飼い主のモラル向上を図ることが出来、公園内の衛生上の管理も向上できるものと考えます。

また、今般の災害多発の時代の中で、犬などの飼育動物の避難について、「家族」として一緒に避難する事を希望している飼い主家族が多く、ペットと一緒に避難する事が課題となっています。避難所に、もしくは避難所のそばにドッグラン施設があれば、より一層、一緒に避難することが出来るものと推察できます。

ドッグラン施設の建設については、基本的にドッグランを囲むフェンスの設置です。そのため、建設自体は比較的安価に設置することが出来ると考えます。

つくばみらい市内には、多くの公園があり、その公園の中には大規模な公園も数か所ありま

す。その公園の一角にドッグラン施設の建設をすることは十分可能であると考えますし、これまで述べた上記理由にも合致すると思います。また、みらい平地区などにある調整池もドッグラン施設の建設には十分な可能性があると感じています。更に廃校となった学校のグラウンドや市管理の未利用地など多くのドッグラン施設の建設の候補地があると思います。施設の運営管理については、近隣の施設を参考に「登録制」や「有料化」などを検討していただき、更に登録においては狂犬病ワクチン接種の義務などの条件を付するなど、モラル向上の一助となるような手法も取り入れ、利用される方々の責任も明確にした運営を期待しているところです。

以上の事から、つくばみらい市内においてドッグラン施設を建設していただきたくお願いいたします。

上記の通りお願いいたします。

つくばみらい市議会議員 鐘ヶ江礼生奈 様